

2022年9月8日

電通、国内グループ横断組織「web3 club」発足 —顧客企業のWeb3関連ビジネスを統合的に支援—

株式会社電通（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：榎谷 典洋）は、電通ジャパンネットワーク（以下、DJN）※1傘下でR&Dを推進する組織「電通イノベーションイニシアティブ」、株式会社電通国際情報サービス（本社：東京都港区、代表取締役社長：名和 亮一）、株式会社セブテーニ・インキュベート（本社：東京都新宿区、社長：松田 忠洋）と共同で、NFT（Non-Fungible Token：非代替性トークン）を含むWeb3領域における顧客企業のビジネスを統合的に支援するグループ横断組織「web3 club（ウェブスリークラブ）」を本日発足しました。顧客企業が持つアニメやスポーツなどのIP（知的財産）活用および新規IP開発などによるNFT施策、またWeb3関連ソリューションを開発・提供することで事業成長を支援すると共に、Web3がつくる新しい経済の形成にも貢献していきます。

〈「web3 club」ロゴ〉



Web3とは、現在のWeb2時代の次の世代のインターネットと呼ばれ、その大きな特徴の一つがブロックチェーン技術の活用です。中でも、ブロックチェーン技術を基盤とするNFT、暗号資産などへの注目は急速に高まり続け、2030年にはWeb3の市場は815億米ドル（約11兆円）を超える規模※2になると予測されています。Web3は応用範囲が広く、分散型自律組織（DAO）、分散型アイデンティティ（DID）、分散型金融（DeFi）、分散型アプリケーション（dApps）など、既に幅広い領域で市場が形成され始めています。

このように注目が高まる一方で、Web3ビジネスに新規参入を図る企業にとっては、テクノロジーへの理解、法的対応や税務・財務上の取り扱い、商習慣や文化の違いなど、対処する分野が多岐にわたる点がハードルとなるケースが多く見受けられます。

今回発足した「web3 club」は、ビジネスデザイナー、クリエイター、コンテンツディレクター、データサイエンティスト、エンジニア、法務や税務などのプロフェッショナルが結集し、Web3領域の広範な課題解決を支援するグループ横断組織です。Web3ビジネスに新規参入を図る顧客企業やパートナー企業のWeb3領域における事業成長を支援していきます。

「web3 club」は、アドバイザーに日本発のパブリックブロックチェーンであるAstar Network（アスターネットワーク）を開発するStake Technologies（ステイクテクノロジーズ）Pte. Ltd.のCEO渡辺 創太氏らを迎えるほか、Astar Japan Lab^{※3}などWeb3の研究を行う外部団体にも参画しています。また今後、産官学連携を通じた研究活動を推進し、「web3 club」の取り組みを加速していきます。

- ※1 「電通ジャパンネットワーク（DJN）」は、純粋持株会社（株式会社 電通グループ）の社内カンパニーであり、国内に展開する事業会社約160社を統括・支援しています。またDJNは、それらグループ会社で構成されるネットワークそのものを指します。なお、当リリースにおけるDJNは、前者を意味します。URL：<https://www.japan.dentsu.com/jp/>
- ※2 出典 “Web 3.0 Market Size, Share, Trends, By Type, Blockchain Type (Public, Private, Hybrid, and Others), By Organization Size (Small and Medium-Sized Enterprises, Large Enterprises), By Application, By Vertical, and By Region Forecast to 2030,” Emergen Research, May 2022
- ※3 Astar Japan Labは、ブロックチェーン（Astar Network）を利用したサービス開発やビジネス創出に関わる事業者が、Web3の調査、研究、知見の集約などを行うことを目的に設立されたコンソーシアムです。

以上

【リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通 広報オフィス 広報部
松島、抱井、王
ソリューションクリエイションセンター 育成・広報・ナレッジ推進部
鈴木、半田
Email：koho@dentsu.co.jp

【事業に関する問い合わせ先】

株式会社電通 事業共創局
深谷、越前、北川
Email：web3club@dentsu.co.jp